

## 3331 Arts Chiyoda

正会員 佐藤 慎也 君  
正会員 古澤 大輔 君  
正会員 馬場 兼伸 君  
正会員 黒川 泰孝 君

千代田区の廃校となった地下1階地上4階の旧練成中学校を再活用し、2010年6月にオープンしたアートセンターである。2008年に運営団体を募集するプロポーザルが行われ、事業計画等のソフト面と合わせてリノベーションに対するハード面の事業提案がなされ、「合同会社コマンドA」が運営団体に選出された。

改修は、PPP（Public Private Partnership）方式により進められ、実施設計、監理、改修工事を運営団体によって進めることができ、ソフトとハードが一体となって運営側と設計者の密度の高い計画が実行されている。

改修の大きな成果を挙げると、地元住民との協働によって計画された隣接する練成公園との間の垣根を取り払うことで、アートセンターがよりまちに開かれたものとなっていること。公園側に設けたデッキに対して大きく開口を取ることで、コミュニティースペース、カフェ、ショップを介して敷居の低いアプローチとバリアフリー化を実現している点であろう。また、共有空間においても、地元住民、作家、来訪者との交流やイベントが積極的に展開できている。

プラン的には、1階は、4×7 スパンの中に、耐震補強壁を巧みに配置しつつ、本格的な展覧会を行う4つのギャラリースペースが確保、徹底した改修を施している点である。各ギャラリーの展示壁の裏面には様々な展示に対応できるよう空間を確保、内装、照明計画も既設のものを最大限活用している。

地下1階ではアーティストを育成するスクールを、2階、3階は、国内外のアーティストやクリエイターの活動スペース、ギャラリー、オフィス、アートインレジデンス等、既存の教室の単位で記憶を残した構成で最小限の改修に留めている。2階体育館は、地元住民との共有使用、イベントスペースとして、屋上運動場は、一部レンタル菜園を提案して住民参加のスペースとして提供されている。

総括ディレクターの中村氏の采配もあって、アーティスト、展示、イベントのサポート、日本各地、東アジアへの情報発信の体制も充実している。

地域住民、行政、運営団体が一体となって実現できた新しい都市空間で、アートを通して様々な活動が互いにコラボレーションし、日常的な都市の営みと連携した空間が誕生することとなった。

よって、ここに日本建築学会作品選奨を贈るものである。